

平成26年8月期第2四半期 決算説明資料

平成26年4月25日

株式会社 大庄



DAISYO CORPORATION

～「日本の台所」になる～



目次

I. 26/8月期第2四半期決算の概要

新規出店・改装店実績	P. 4
都道府県別 グループ店舗数	P. 5
売上高	P. 6-8
連結営業利益	P. 9
連結経常利益・当期純利益	P. 10
連結特別損失	P. 11
連結貸借対照表(B/S)	P. 12
連結キャッシュ・フロー	P. 13
関係会社の状況	P. 14

II. 今後の経営計画及び具体的施策について

「業務構造改革」の取り組みについて	P. 16-18
26/8期 通期計画(連結ベース)	P. 19
26/下半期計画の策定骨子	P. 20
26/8期 店舗計画	P. 21
26/下半期の戦略方針	P. 22
来期(27/8期)に向けての収益改善策	P. 23
中期経営計画(連結ベース)	P. 24

26／8月期第2四半期決算の概要

DAISYO CORP.

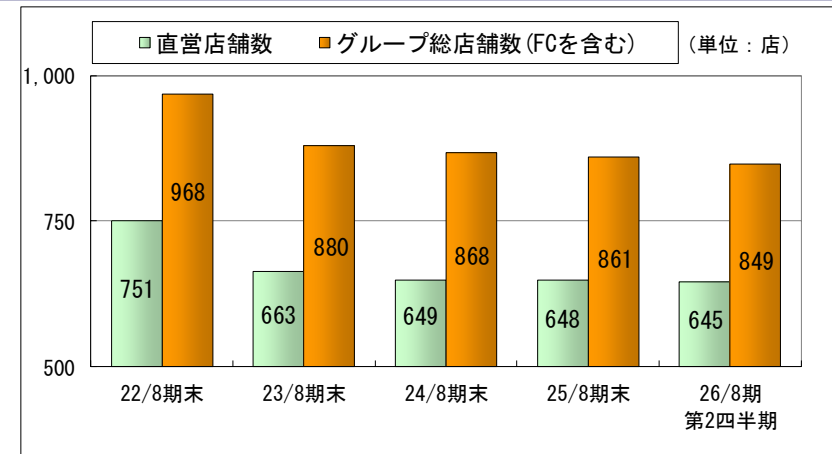
【単位：百万円】

連 結		25/8期 第2四半期	構成比	26/8期 第2四半期	構成比	前期比 増減	増減率
	売上高	38,546	100.0%	36,830	100.0%	▲1,716	▲4.5%
	営業利益	594	1.5%	▲443	▲1.2%	▲1,038	—
	経常利益	535	1.4%	▲494	▲1.3%	▲1,030	—
	当期純利益	48	0.1%	▲528	▲1.4%	▲577	—

単 体		25/8期 第2四半期	構成比	26/8期 第2四半期	構成比	前期比 増減	増減率
	売上高	33,923	100.0%	32,113	100.0%	▲1,810	▲5.3%
	営業利益	536	1.6%	▲463	▲1.4%	▲999	—
	経常利益	483	1.4%	▲509	▲1.6%	▲992	—
	当期純利益	38	0.1%	▲511	▲1.6%	▲550	—

1. 新規出店・改装店実績

	26/8期 第2四半期
新規出店	2
店舗改装	7
閉店	5



業態別明細

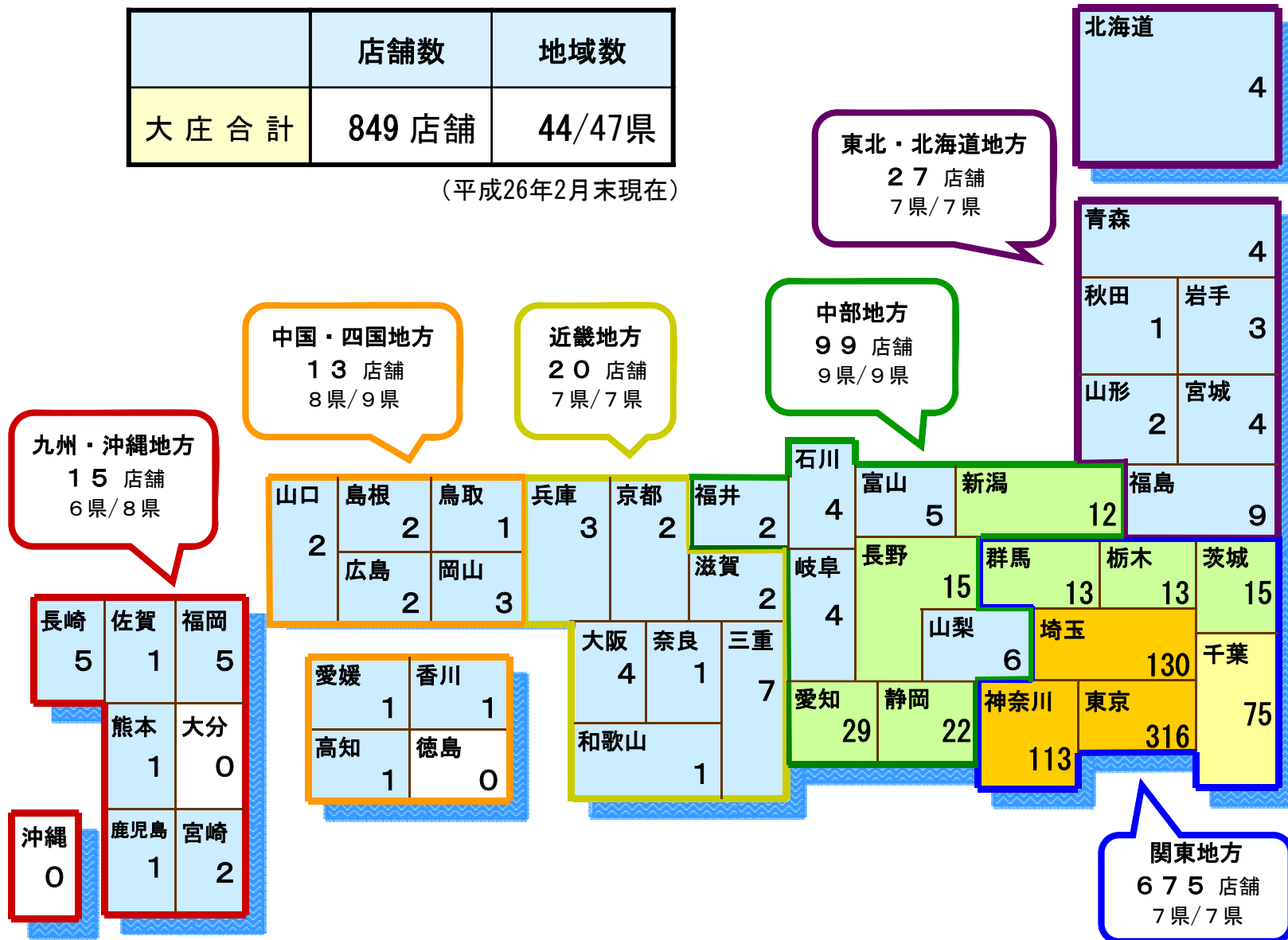
	25/8期	新規出店	改装	(うち、業態変更)	閉店	増減	26/8期 第2四半期
庄や	221					0	221
日本海庄や	117	1			▲1	0	117
うたうんだ村	76					0	76
やるき茶屋	69				▲1	▲1	68
築地日本海	24					0	24
築地寿司岩	20					0	20
大庄水産	16	1	1			1	17
塩梅	16			(▲5)		▲5	11
大福水産	8					0	8
呑兵衛	8					0	8
中の濱	7					0	7
浜の母や	6					0	6
大和路	5					0	5
榮太郎	5				▲1	▲1	4
その他	50		6	(6)	▲2	3	53
大庄合計	648	2	7	(6)	▲5	▲3	645

2. 都道府県別 グループ店舗数

	店舗数	地域数
大庄合計	849 店舗	44/47県

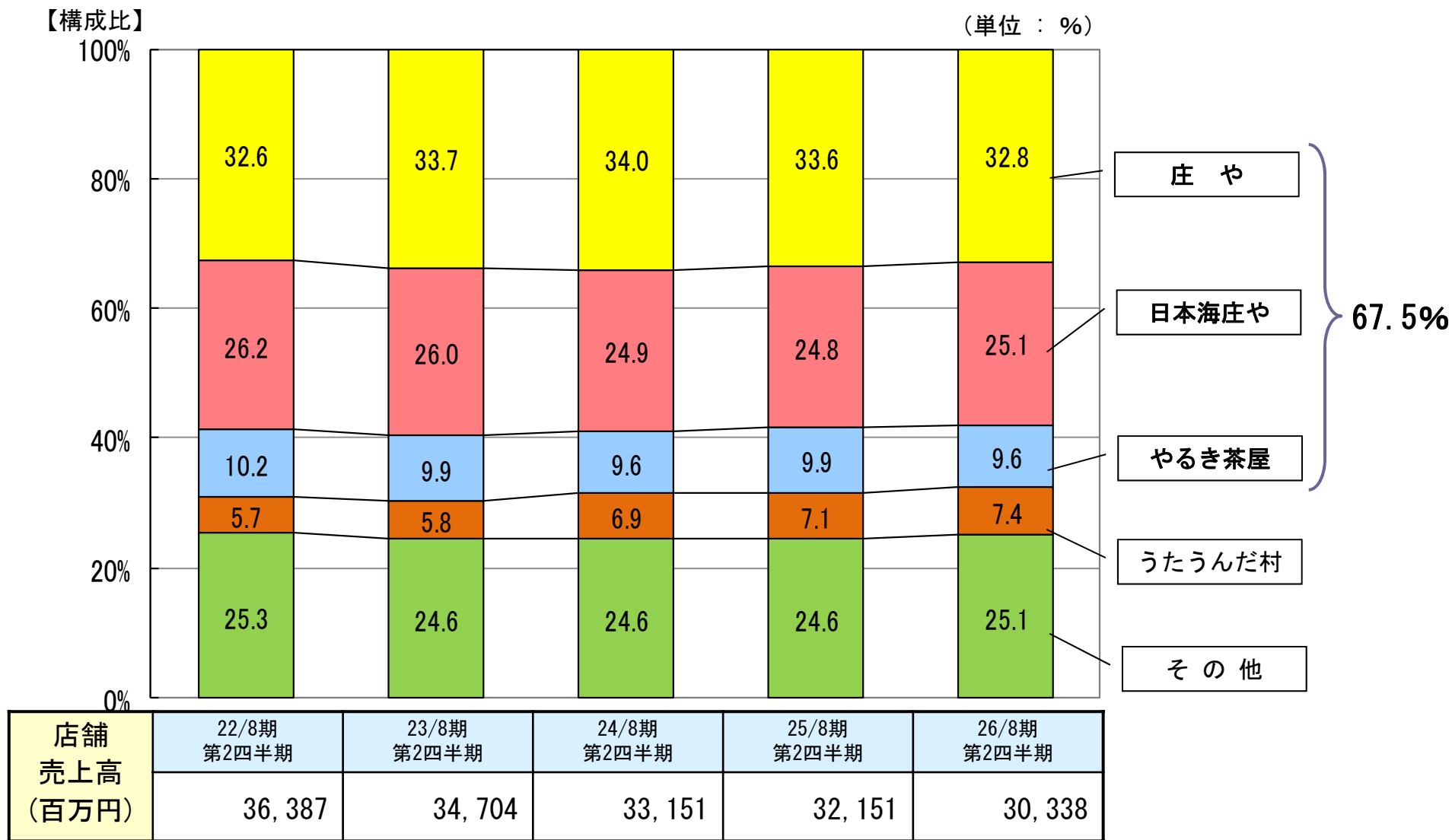
(平成26年2月末現在)

0店舗
1~10店舗
11~30店舗
31~100店舗
101~店舗



3. 売上高

(1) 業態別・店舗売上高構成の推移



▶ 主要3業態で店舗売上高の約7割を占める

3. 売上高

(2) 既存店売上高（対前年比）

<月別推移表>

→ ※業務構造改革

※ 4/20現在

	24/8期	25/8期	9月	10月	11月	12月	※1月	※2月	3月	4月
売上高	105.2%	98.7%	97.4%	95.8%	102.0%	98.3%	90.5%	83.1%	87.8%	95.4%
客数	103.9%	100.5%	99.8%	97.8%	103.1%	99.4%	90.0%	83.2%	87.7%	94.6%
客単価	101.3%	98.3%	97.6%	98.0%	99.0%	99.0%	100.6%	99.8%	100.1%	100.9%

- ※ 1. 1月より、営業時間の短縮および定休日を設けた
- 2. 2月は、大雪の影響により、約7～8%低下した

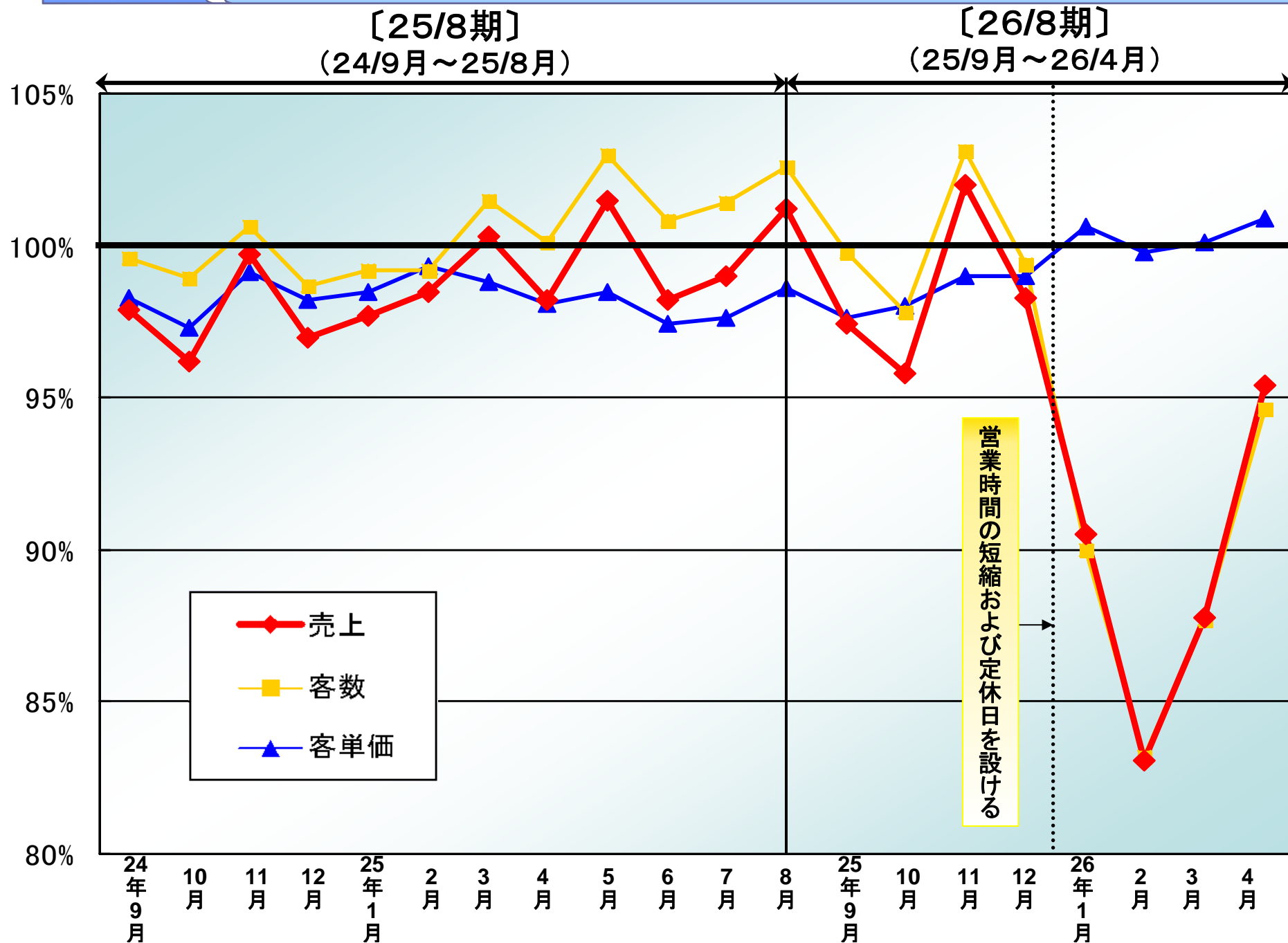
<カテゴリー別実績前年比>

	昼	宴会	夜フリー	26/2期累計
売上高	100.8%	94.4%	93.8%	94.8%
客数	100.8%	92.4%	93.8%	95.8%
客単価	100.0%	102.1%	100.0%	99.0%

<カテゴリー別売上構成比>

	昼	宴会	夜フリー
24/2期累計	12.2%	15.0%	72.8%
25/2期累計	13.7%	14.6%	71.7%
26/2期累計	14.6%	14.5%	70.9%
前期増減率	+0.9%	▲0.1%	▲0.8%

(3) 既存店売上高・客数・客単価の対前年比月別推移



4. 連結営業利益の内訳

DAISYO CORP.

【単位：百万円】

	平成25年8月期 第2四半期実績		平成26年8月期 第2四半期実績		増減額		備考
		構成比		構成比		比率差	
売上高	38,546	100.0%	36,830	100.0%	▲1,716	—	
売上原価	13,994	36.3%	13,915	37.8%	▲79	+1.5%	
売上総利益	24,552	63.7%	22,915	62.2%	▲1,636	▲1.5%	
人件費	13,068	33.9%	12,693	34.5%	▲375	+0.6%	
地代家賃	3,848	10.0%	3,814	10.4%	▲34	+0.4%	
水道光熱費	2,002	5.2%	2,035	5.5%	33	+0.3%	
減価償却費	1,117	2.9%	986	2.7%	▲131	▲0.2%	
販促・広宣費	853	2.2%	833	2.3%	▲20	+0.1%	
消耗備品費	663	1.7%	638	1.7%	▲24	+0.0%	
衛生費	533	1.4%	525	1.4%	▲7	+0.0%	
その他	1,869	4.9%	1,831	5.0%	▲38	+0.1%	
販売費及び一般管理費	23,957	62.2%	23,359	63.4%	▲598	+1.2%	
営業利益	594	1.5%	▲443	▲1.2%	▲1,038	▲2.7%	

5. 連結経常利益・当期純利益の内訳

【単位：百万円】

	平成25年8月期 第2四半期実績		平成26年8月期 第2四半期実績		増減額		備考
		構成比		構成比		比率差	
売上高	38,546	100.0%	36,830	100.0%	▲1,716	—	
売上原価	13,994	36.3%	13,915	37.8%	▲79	+1.5%	
販売費及び一般管理費	23,957	62.2%	23,359	63.4%	▲598	+1.2%	
営業利益	594	1.5%	▲443	▲1.2%	▲1,038	▲2.7%	
営業外収益	48	0.1%	40	0.1%	▲8	▲0.0%	
営業外費用	106	0.3%	91	0.2%	▲15	▲0.1%	
経常利益	535	1.4%	▲494	▲1.3%	▲1,030	▲2.7%	
特別利益	—	—	248	0.7%	248	+0.7%	
特別損失	199	0.5%	242	0.7%	42	+0.2%	
税引前当期純利益	336	0.9%	▲488	▲1.3%	▲824	▲2.2%	
法人税等	169	0.4%	143	0.4%	▲25	▲0.0%	
法人税等調整額	115	0.3%	▲103	▲0.3%	▲219	▲0.6%	
少数株主損益	2	0.0%	0	0.0%	▲1	▲0.0%	
当期純利益	48	0.1%	▲528	▲1.4%	▲577	▲1.5%	

6. 連結特別損失の内訳

DAISYO CORP.

【単位：百万円】

項目	25/8期 第2四半期	26/8期 第2四半期	増減	備考
減損損失	136	168	31	
固定資産圧縮損	—	42	42	
固定資産除却損	44	29	▲15	
店舗関係整理損	8	2	▲6	
固定資産売却損	7	0	▲7	
閉店損失引当金繰入額	2	—	▲2	
特別損失	199	242	42	

7. 連結貸借対照表 (B/S)

DAISYO CORP.

(単位：百万円)

	25/8期	26/8期 第2四半期	増減額		25/8期	26/8期 第2四半期	増減額
流動資産	14,907	15,283	375	負債合計	22,091	22,486	395
現預金	10,440	11,700	1,259	買掛金	2,560	1,854	▲705
売掛金	2,611	2,057	▲554	未払金	3,199	2,358	▲840
棚卸資産	633	633	0	借入金(長短)	5,790	8,663	2,873
短期繰延税金資産	575	238	▲336	社債	4,002	3,660	▲342
その他	647	654	7	リース債務	1,364	1,102	▲262
固定資産	33,493	32,829	▲664	資産除去債務(長短)	1,167	1,173	5
有形固定資産	19,309	18,552	▲756	その他	4,007	3,674	▲332
無形固定資産	1,091	1,080	▲10	純資産合計	26,310	25,626	▲684
敷金・保証金	11,663	11,344	▲318	株主資本	26,509	25,815	▲694
長期繰延税金資産	961	1,396	434	資本金	8,626	8,626	—
その他	467	455	▲12	資本剰余金	9,908	9,908	—
資産合計	48,401	48,113	▲288	利益剰余金	8,577	7,883	▲694
				自己株式	▲602	▲602	▲0
				その他包括利益累計額	▲346	▲336	10
				少数株主持分	146	146	▲0
				負債・純資産合計	48,401	48,113	▲288

	25/8期	26/8期 第2四半期	増減額(率)
有利子負債	9,792	12,323	2,530
現預金	10,440	11,700	1,259
NET有利子負債	▲647	623	1,270
自己資本比率	54.1%	53.0%	▲1.1%
有利子負債依存度	20.2%	25.6%	+5.4%

8. 連結キャッシュ・フロー

DAISYO CORP.

	平成25年8月期 第2四半期	平成26年8月期 第2四半期	増減額	【単位：百万円】
1. 営業活動CF	1,034	▲358	▲1,392	
税引前利益	336	▲488	▲824	
減価償却費	1,130	1,015	▲115	
減損損失	136	168	31	
各種引当金純増減額	47	▲64	▲111	
法人税等	▲240	▲371	▲130	
その他営業CF	▲376	▲617	▲241	
2. 投資活動CF	▲542	▲438	103	
有形固定資産の取得	▲521	▲699	▲178	
敷金・保証金の差入・回収純増減額	49	287	238	
その他投資CF	▲70	▲26	44	
※ フリーキャッシュ・フロー	(491)	(▲796)	(▲1,288)	
3. 財務活動CF	▲1,653	2,057	3,710	
長短借入金の純増減額	▲901	2,873	3,775	
社債の純増減額	▲292	▲342	▲50	
リース債務の返済支出	▲292	▲307	▲14	
配当金の支払額	▲166	▲165	0	
その他財務CF	—	▲0	▲0	
4. 現金及び現金同等物の増減額	▲1,161	1,260	2,421	

9. 関係会社の状況

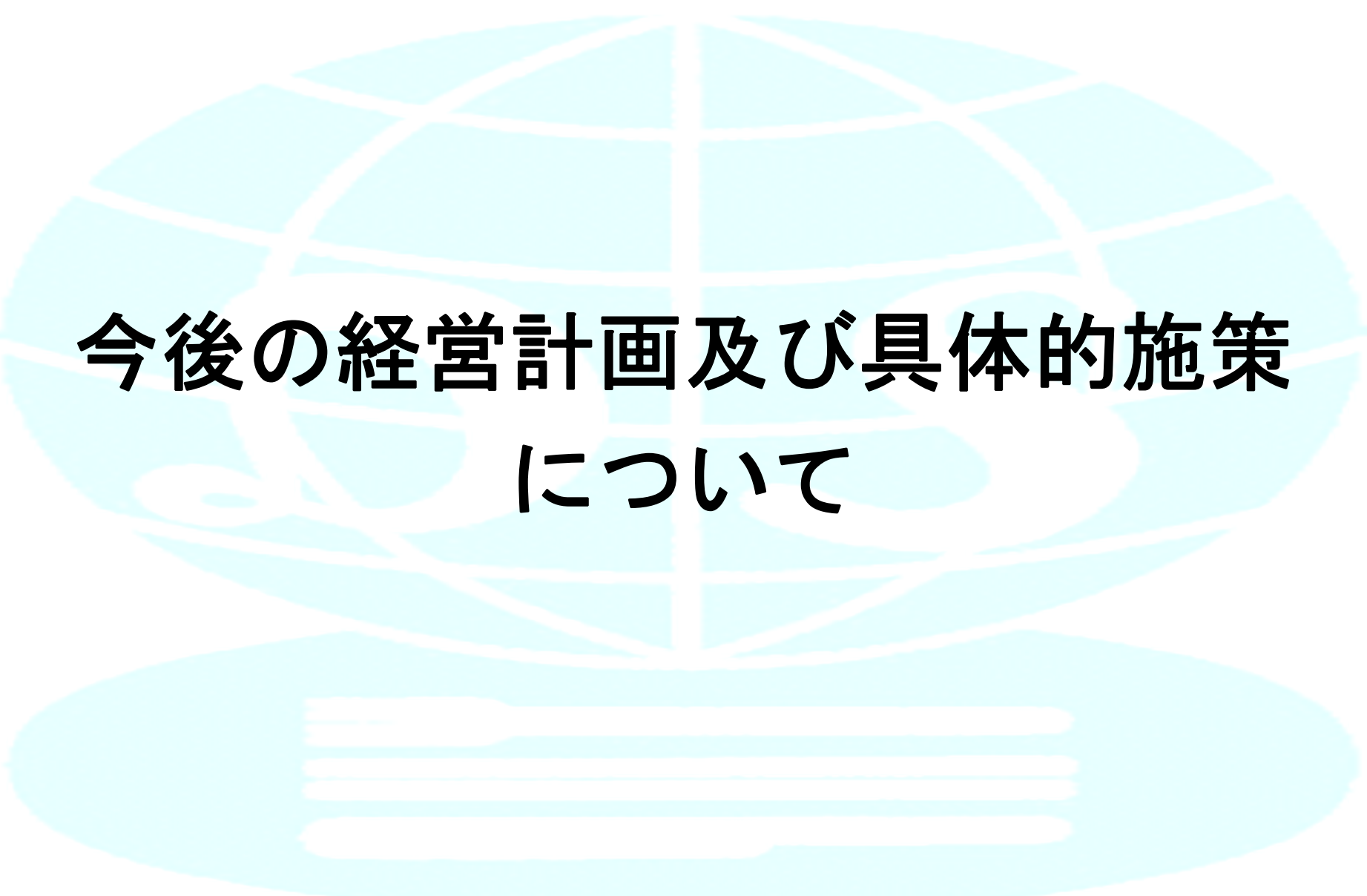
➤ 連結子会社

(単位：百万円)

	主要な事業内容	本社所在地	資本金	26/8期 第2四半期 売上高	議決権の 所有割合	備考
米川水産(株)	生鮮魚介類等の 卸売業	東京都 中央区	90	2,149	100.0%	・築地市場での買参権を保有 ・外販部門の営業を強化
(株)ディ・エス物流	食材等の配送業	東京都 中央区	99	2,691	100.0%	・グループ店舗へ食材等を毎日一括配送 ・外部取引先への配送業務を強化中
(株)アサヒビジネス プロデュース	不動産賃貸管理 煙草・飲料販売	東京都 中央区	60	323	75.0%	・ソーシャルビルの転貸業務が柱 ・グループ店舗中心に「害虫駆除」事業を拡大中
(株)アルス	病院・事業用 給食施設の運営	東京都 大田区	80	1,162	63.0%	・柱である病院給食事業の収益基盤が確立 ・25年8月よりサービス付高齢者住宅事業を開始
新潟県佐渡 海洋深層水(株)	飲料水等の 製造・販売	新潟県 佐渡市	96	92	100.0%	・海洋深層水を利用したミネラルウォーターのOEM製造

➤ 持分法適用関連会社

	主要な事業内容	本社所在地	資本金	26/8期 第2四半期 売上高	議決権の 所有割合	備考
(株)エム・アイ・ プランニング	酒・飲料等の卸売・ 配送業	東京都 葛飾区	10	969	20.0%	・当社並びにF C店舗に酒・飲料等を卸売・配送



今後の経営計画及び具体的施策 について

1. 取り組みの背景

(1) 労働環境の変化

→ 「長時間労働問題」に対する厳格な対応が社会全体に求められている

(2) 居酒屋市場の変化

→ 人口減少、少子高齢化、若者の飲酒離れなど、市場は構造的な転換期にある

→ 特に、「深夜時間帯」を中心に飲食需要は縮小

(3) 収益性の悪化

→ 時間帯・曜日別の収益性分析では、非効率で不採算な営業時間帯が顕著に

(4) 採用難に伴う人手不足

→ 当業界への悪風評が採用活動を困難にし、結果として従業員への負荷が高まっている

2. 改革の骨子

(1) 従業員の労働環境の改善

- 従業員にとって真に働き甲斐のある労働環境を構築する
～ライフ・ワーク・バランスの実現

(2) 営業時間体制の見直し

- 適正な労働時間の確保と、採算性を踏えた店舗の営業時間体制の見直しを図る

(3) 店舗オペレーション体制の再構築

- 「お客様満足度」を高めることが出来る、適正な人員体制を確保する
- 最需要時間帯での営業活動に集中特化し、生産性を高めることにより収益改善を図る
- ワークスケジュールの精緻化と運用スキルの向上

3. 具体的内容

(1) 店舗営業時間の短縮及び定休日の設定

→ 時間・曜日別の収益分析に基づき、店舗ごとに営業時間の短縮及び定休日を設ける

(2) 「店舗リストラクチャリング」の実施

→ 不採算店舗閉鎖による収益改善及び人員異動による既存店舗の人手不足解消を図る

(3) 新しい人事制度や賃金制度の構築

→ 業績主義に基づく明確な賃金体系の構築により、従業員のモチベーションを高める

→ 人事評価体系の見直しを図り、職種別・階層別の期待水準や求める人材像を明確化

(4) 新しい収益モデルの構築

→ 付加価値度や生産性を重視したMD戦略を推進していく

→ 「食材開発力」「メニュー開発力」「業態開発力」の強化

→ 新営業時間、新人事制度を踏えた「店舗標準収益モデル」構築への取り組み

26/8月期 通期計画(連結ベース)

DAISYO CORP.

(単位：百万円)

	25/上期 実績	26/上期 実績	増 減	25/下期 実績	26/下期 計画	増 減	25/8期 実績	26/8期 計画	増 減
売 上 高	38,546	36,830	▲1,716	39,134	36,090	▲3,044	77,680	72,920	▲4,760
営 業 利 益	594	▲443	▲1,038	776	▲417	▲1,193	1,370	▲860	▲2,230
経 常 利 益	535	▲494	▲1,030	744	▲426	▲1,170	1,279	▲920	▲2,199
当期純利益	48	▲528	▲577	115	▲542	▲657	163	▲1,070	▲1,233

<特別損失>

▶ 店舗改装、統廃合に伴う固定資産除却損等

	25/8期実績	26/8期計画
特別損失見込	441	430

1.26/下半期計画の策定骨子

(1)売上高

- ・ 営業時間短縮により、「既存店売上計画」は下半期90.8%で見込む
→ 26/上半期実績は、1月からの「業務構造改革」を含め 対前年比94.8%
(12月迄 98.4%、改革着手後 87.1%)

(2)売上原価

- ・ 「原価率計画」は、下半期29.9%(前年比▲0.3%)で見込む(単体)
→ 連結ベースでは、下半期36.7%(前年比+0.7%)

(3)販管費

- ・ 営業時間短縮による人件費や水道光熱費等の減少を主因に、
この下半期で前年比 約▲1,000百万円の減少を見込む(単体)

2.26 / 8月期 店舗計画

(1) 新規出店

		26/上期 実績	26/下期 計画	26/8期 通期計画
連	結	2 店舗	3 店舗	5 店舗

(2) 改装店舗

		26/上期 実績	26/下期 計画	26/8期 通期計画
連	結	7 店舗	13 店舗	20 店舗

※「店舗リストラクチャリング」
の実施

(3) 閉店

		26/上期 実績	26/下期 計画	26/8期 通期計画
連	結	5 店舗	45 店舗	50 店舗

※「不採算店舗」を閉鎖

3.26 / 下半期の戦略方針

(1) 収益力確保に向けた新しい営業体制の構築

→ 収益減少を最小限に止める最適な営業時間体制を早急に確立する

(2) 新しい経営体制を早急に構築

→ 新しい店舗組織体制の確立

→ 新しい人事制度(賃金及び評価体系など)による従業員のモチベーションアップと
取組み目標の明確化

→ 研修システムとの連携

(3) 最善手段による「店舗リストラクチャリング」の推進

→ 閉店損失額を極力抑えるため、他店への転貸／売却、運営委託など最善策で決着

(4) 来期に向けた店舗改装も積極的に推進

→ 店舗リニューアルおよび不振業態からの転換を図り、収益改善を目指す

(5) 集客力アップに向けたイベント企画の定例化

→ 引き続き、「マグロ解体ショー」等を名物イベントとして定例化させていく

(1) 店舗オペレーション改革による収益力の回復

- 新しい営業(組織)体制や人事制度を早急に定着化
- 研修体系

(2) 今期の店舗リストラによる収益の大幅改善

- 不採算店舗の閉店及び店舗改装に伴う収益改善効果
- 人員移動による収益店舗の人材確保

(3) 構造改革に伴う人件費補てんの減少

- 激変緩和措置としての補てん等が無くなることによる収益改善効果

(4) 新しい収益モデルへの取組み

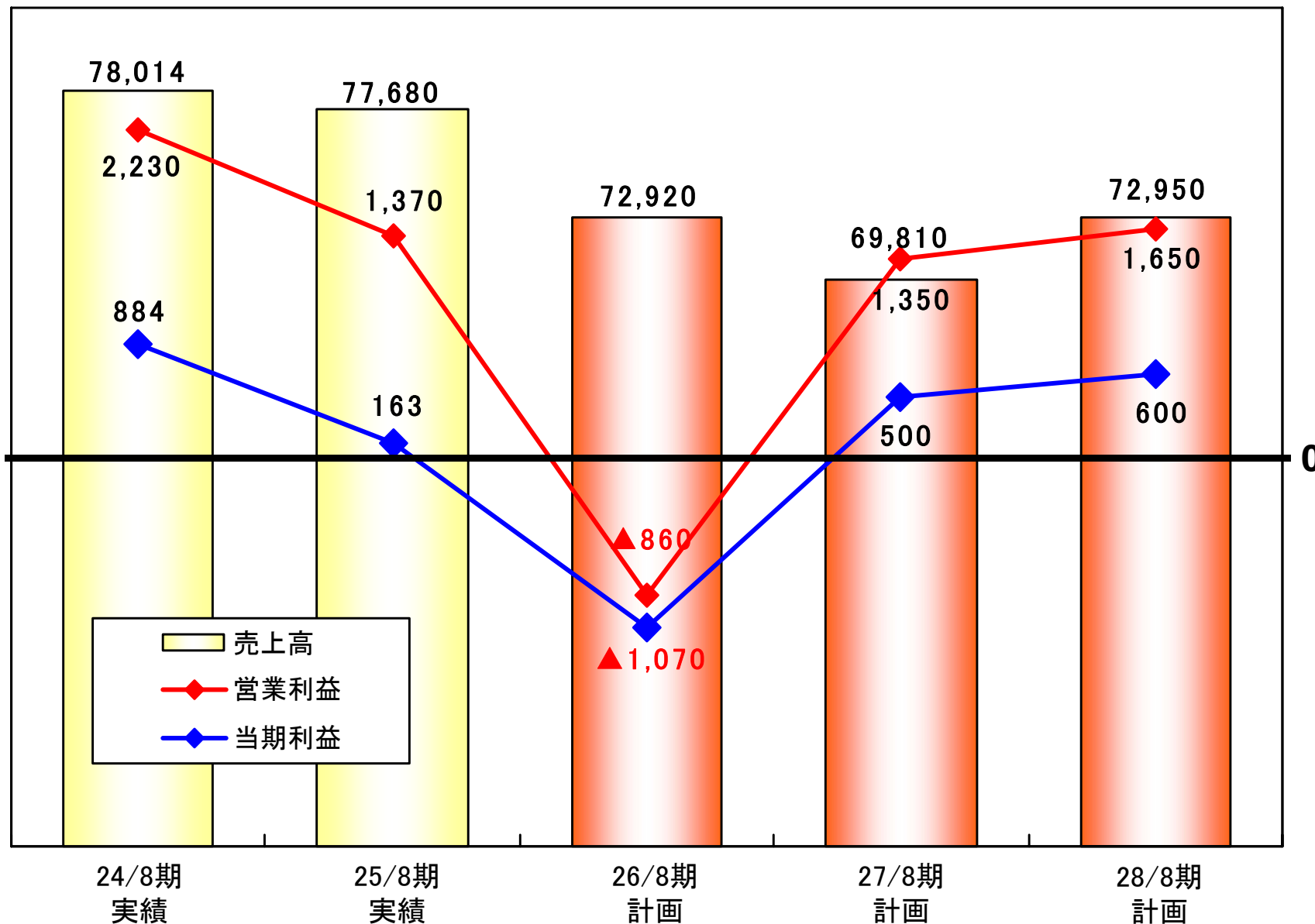
中期経営計画（連結ベース）

1. 来期(27/8期)は、新しい営業体制の基に売上回復を図る
2. 28/8期以降は、「新規出店」戦略により再び規模拡大を目指す

	24/8期 実績	構成比	25/8期 実績	構成比	26/8期 計画	構成比	27/8期 計画	構成比	28/8期 計画	構成比
売上高	78,014	100.0%	77,680	100.0%	72,920	100.0%	69,810	100.0%	72,950	100.0%
営業利益	2,230	2.9%	1,370	1.8%	▲860	▲1.2%	1,350	1.9%	1,650	2.3%
経常利益	2,059	2.6%	1,279	1.6%	▲920	▲1.3%	1,320	1.9%	1,610	2.2%
当期純利益	884	1.1%	163	0.2%	▲1,070	▲1.5%	500	0.7%	600	0.8%
新規出店数	3 店舗	—	5 店舗	—	5 店舗	—	10 店舗	—	30 店舗	—
改装店数	19 店舗	—	10 店舗	—	20 店舗	—	20 店舗	—	20 店舗	—
閉店数	17 店舗	—	6 店舗	—	50 店舗	—	10 店舗	—	5 店舗	—
期末店舗数	649 店舗	—	648 店舗	—	603 店舗	—	603 店舗	—	628 店舗	—

通期連結売上高・営業利益・当期純利益の推移

(単位: 百万円)



【将来見通しに関する注意事項】

本資料に記載されている、当期ならびに将来の業績見通し等に関する記述内容につきましては、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

従いまして、実際の業績等は、様々な要因により大きく変動する可能性があることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与える要因としては、当社グループを取り巻く経済・社会情勢や市場環境、会計基準や法律・諸制度の変更などがあります。さらに、自然災害などの予測不可能なリスク要因も含まれております。

また、当資料は、当社グループをより深く理解いただくために、株主、投資家の皆様への情報提供を目的としたものであり、必ずしも投資をお勧めするものではないことをご認識いただくようお願い申し上げます。

**IRお問い合わせ先****担当部：株式会社大庄 経営企画室****電話：03-5764-2229****FAX：03-5764-2237**